

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 1 区分
【発行日】 令和 4 年 9 月 6 日(2022.9.6)

【公開番号】 特開 2021-154277(P2021-154277A)
【公開日】 令和 3 年 10 月 7 日(2021.10.7)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-048
【出願番号】 特願 2021-48527(P2021-48527)
【国際特許分類】

B 0 1 J 41/14(2006.01)

10

C 0 8 J 5/22(2006.01)

B 0 1 D 69/02(2006.01)

B 0 1 D 69/06(2006.01)

B 0 1 D 69/10(2006.01)

B 0 1 D 69/12(2006.01)

B 0 1 D 71/28(2006.01)

B 0 1 D 71/82(2006.01)

B 0 1 D 61/46(2006.01)

B 0 1 J 47/12(2017.01)

D 0 6 M 15/233(2006.01)

20

【F I】

B 0 1 J 41/14

C 0 8 J 5/22 1 0 5

C 0 8 J 5/22 C E S

B 0 1 D 69/02

B 0 1 D 69/06

B 0 1 D 69/10

B 0 1 D 69/12

B 0 1 D 71/28

B 0 1 D 71/82 5 0 0

B 0 1 D 61/46 5 0 0

B 0 1 J 47/12

D 0 6 M 15/233

30

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 8 月 29 日(2022.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

40

【0 0 1 9】

本発明に係るアニオン交換膜の製造方法は、アニオン交換基を導入可能な官能基又はアニオン交換基を有する単量体と架橋性単量体とを含む単量体成分、及び重合開始剤を含むアニオン交換樹脂形成用の重合性組成物を、厚みが 90 μm 以上 160 μm 以下であり、開口率が 35 % 以上 55 % 以下であるポリオレフィン系織布からなる基材の空隙へ含浸させる含浸工程と、前記含浸工程の後に、前記単量体成分を 40 $^{\circ}\text{C}$ 以上 80 $^{\circ}\text{C}$ 未満にて共重合させる工程とを含む構成を備えている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

50

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

アニオン交換基を導入可能な官能基又はアニオン交換基を有する単量体と架橋性単量体とを含む単量体成分、及び重合開始剤を含有するアニオン交換樹脂形成用の重合性組成物を、厚みが $90\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $160\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、開口率が 35% 以上 55% 以下であるポリオレフィン系織布からなる基材の空隙へ含浸させる含浸工程と、

前記含浸工程の後に、前記単量体成分を $40\text{ }^{\circ}\text{C}$ 以上 $80\text{ }^{\circ}\text{C}$ 未満にて共重合させる工程とを含む、アニオン交換膜の製造方法。

10

20

30

40

50